

ソラクライプロジェクト

CO₂削減/ライトダウンキャンペーン検証日記(鳥取編)

2008年6月21日(土)と7月7日(月)の両日は、環境省の呼びかけにより全国一斉にライトダウンが実施される。当然、実施されれば「光害(ひかりがい)」も削減されるだろう。よって、ソラクライプロジェクトでもその効果を検証することにした。この結果をもとに再度「光害」について考えていただければと思います。

「再動！」<2008年6月17日(火)>

仕事の合間を縫ってのソラクライプロジェクト活動。環境省の呼びかけによるCO₂削減/ライトダウンキャンペーンが始まるというのに何も動けない状態。このまま何もすることができないのか・・・。

そう思った瞬間！！TEAM103(ソラクライプロジェクト推進チーム)の会員に「何か行動を！」と呼びかけていた。

「不覚にも！」<2008年6月18日(水)>

私自身も「何か行動を！」と思い・・・その夜、鳥取市の中心街の夜景・光害の様子を写真に収めるため中心街が一望できる鳥取市河原町のスカイスポーツで有名な霊石山(標高:334m)の頂上に上ることにした。

とりあえず仕事帰りに霊石山頂上を下見することに・・・。頂上までは、麓から車で約20分。待避所は所々にあるものの対向車があればすれ違うのも難しい。曲がりくねった山道をぬけて頂上からみた景色は



遠く日本海を望み、想像を超えるくらい開けていました！

撮影はこの場所に決め、暗くなるのを待とうとも思ったが家事のため、いったん家に帰ることにした。

少しの興奮を覚えながら再び霊石山に上る。あたりはすっかり暗くなっていた。そこから見た鳥取の夜景は・・・光害をなくしようという気持ちで見たのにもかかわらず、不覚にも一瞬！心が奪われるくらいの美しさにショックを受けたのでした。(その後に私は、自身のカメラの腕前にショックを受けたのでした・・・。)その景色がこの画像です・・・。



「気と夜景を取り直して」 < 2008年6月19日(木) >

自身のカメラの腕前にショックを受け、「これでは検証にならない」と悩んでいたところ、TEAM103のメンバーからアドバイスと最新鋭！？の一眼レフデジカメをもらった。正確に言うとカメラは、貸してもらった。

それで写したのが、この画像である。



最新鋭のカメラでもこの腕前・・・。TEAM103のメンバーに「まあまあ・・・検証できるかな・・・」とお墨付き！？をもらい当日を待つことにした。

冷静になって考えると、地方都市：鳥取の地でも光害が確認できたことに改めて気づく。

「ライトダウン初日～矛盾活動～」<2008年6月21日(土)>

あいにくの雨・雨・雨。霊石山の頂上付近では霧が立ちこめ夜景を撮影することができなかった。非常に残念。

そこで、街中のライトダウンの状況を見て回ることにした。



【市内の某コンビニエンスストア】ざっと市内を回ってみたところ、協力している店とそうでない店の比は、半々くらいであった。



【我が鳥取市役所】防犯灯を残してライトダウン。

環境省のホームページに登録している鳥取県内の企業・団体は下記のURLからご参照ください。

「環のくらしホームページ」<http://www.wanokurashi.ne.jp/>

CO2削減のためにライトダウンをしているのに、検証とはいえ、私自身が車を走らせCO2を撒き散らしている。こんな矛盾とどう向き合い行動するのか、ソラクライブプロジェクトに限らず深く考えさせられる。

「どっちが・・・。」 < 2008年7月7日(月) >

ライトダウン最終日。環境省のホームページに登録する団体や企業も日に日に増えてきた。うれしい悲鳴である。さぞ、美しい七夕の夜空になるだろうと期待して霊石山に上る。あいにくの曇り空・・・。「どちらにしる、天の川はみえないな」とつぶやきながら撮影してきました。

さて、みなさま！下の画像のAとBはどちらが七夕（ライトダウンを呼びかけている日）に撮影したものでしょう。さあ！どちらでしょう？

A



B



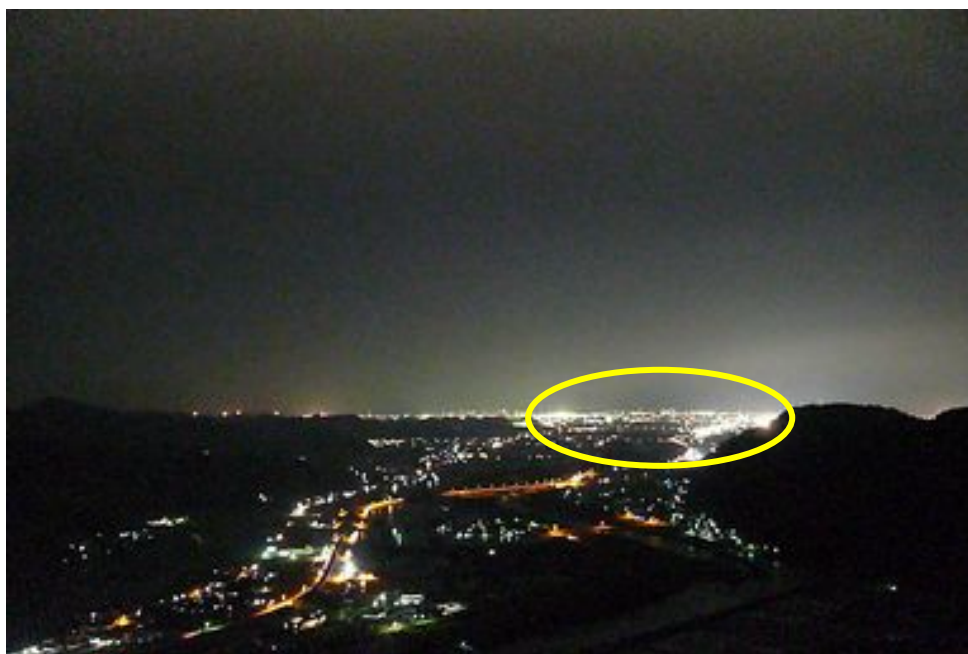
正解は？

A です。ライトダウン当日のほうが、空が明るいという残念な結果に終わりました。

A 2008年7月 7日 20時30分撮影



B 2008年6月19日 20時30分撮影



よく見ると、Aには中央にまばゆいくらいの光源があります。これは、学校のグラウンドのナイター照明でした。画像では分かりにくいですが、この一ヶ所のナイターの照明だけで、かなり空が明るくなってしまいました。今日くらいは、消して欲しかった・・・。非常に残念でした。

しかし、よく比較すると、鳥取市中心街の光が減っていることに気づきます。ライトダウン効果でしょうか。

【結果】ソラクライプロジェクトの観点では、ライトダウン後のほうが明るいという残念な結果になりましたが、夜間照明を消すという団体や企業が多くみられ、CO₂削減効果は少なからずありました。また地球温暖化防止意識の広がりを感じる事ができました。

今回の検証で、改めて鳥取市の光害の様子が明らかになりました。鳥取の空もまだ泣いていました。

【感想】今後も定期的に観測し情報を提供したいと思います。最後に七夕に撮影した鳥取市中心街方向の画像と鳥取市さじアストロパーク方向の画像を載せておきます。これで空の暗さが対比できることと思います。この検証が、ソラクライプロジェクトが、光害防止につながることを星に願います。

【鳥取市中心街方向の夜空】



【さじアストロパーク方向の夜空】

